

アイマム・KTSフーズ・ミルトス

九州産品 全国へ販路拡大で提携

食品業界を中心に営業変革と人材開発コンサルティングを手掛けるアイマム(嶋谷光洋社長、本社「東京都港区」)、九州地域の食材を販売するKTSフーズ(佐藤寿昭社長、本社「大分市」)、外食メニュー開発を手掛けるミルトス(盛宗一郎社長、本社「川崎市」)の3社は、九州地域の食材を活用した外食向けメニューを新たに開発し全国の外食企業などへ同食材の販路を広げるため、17日までに提携した。

アイマムはミルトスの外食メニュー開発へのコンサルティングを強化し、KTSフーズに対しては人材開発の支援に乗り出す。

KTSフーズは、ミルトスとの提携でメニューの企画力を向上させ、首都圏の外食レストラン、デパート、量販店など全国への展開を目指すほか、アイマムによる人材開発支援を機に取引先との関係強化を一段と力を入れる。

ミルトスは、KTSフーズとの提携で食材の取り扱いを九州地域に広げメニュー提案力を強化、取引のある店舗へのサービスを充実する。このほか、食品

卸の営業所を顧客を持つアイマムとの提携を通じての全国展開も目指す。

アイマムは、食品業界を中心に営業変革と人材開発のコンサルティングを提供、180

日間という限られた期間で営業利益の成果を出す特徴的なプログラムを主力サービスにしている。

KTSフーズは、九州の物産・食材、加工品を日本全国、世界へ販売するために設立、商品開発から販売までトータルサポートする。

ミルトスは、チーズを中心としたイタリア食材の商品開発力を持ち、首都圏の外食約800店舗と取引。ユニークな給与連動人事制度によって社員モチベーションを向上、4年間で売上高は5倍、利益は8倍と急成長している。(川崎博之)

日本食糧新聞